

「低炭素社会に向けた12の方策」より

Low Carbon Countryside

農山村の恵みと産業

- POINT 1** 農作物には、栽培方法や健康情報に加え、CO₂排出量などの環境負荷情報が表示されています。環境に優しい農業が行われ、旬の恵みが提供されています。
- POINT 2** 建物や家具への木材利用、木質バイオマスの有効活用が進み、国内林業ビジネスが活性化しています。
- POINT 3** 再生可能エネルギーの地産地消が実現している地域もあります。

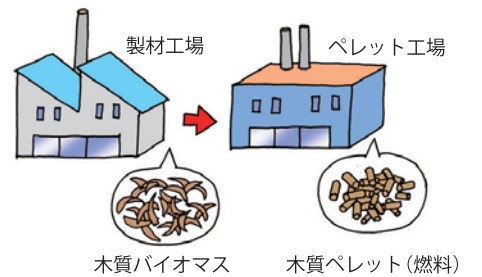
風力発電、エネルギー貯蔵施設を併設

海岸沿い、高原、農牧地などを中心に、大型風車が設置され、地域のシンボルとして稼働しています。洋上では大規模なウィンドファームが設置され、水素などの蓄積・運搬可能なエネルギーに変換されて運ばれています。運転・補修などの業務にあたる人員確保のため、地域の雇用も生まれています。



持続可能な林業ビジネス、木材を多角的に利用

住宅や公共の建築物にも木材建築が普及し、木材の需要が増加しています。作業道ネットワークの整備で、林業機械の利用が促進され、労働生産性が向上しています。残材のバイオマスエネルギー利用も増え、持続可能な林業ビジネスが営まれています。



太陽光発電、大型施設も

建物の屋根に設置されている従来型の太陽光発電システムに加え、遊休地を利用した大型太陽光発電所など、様々な形態のシステムが普及しています。

低炭素型農作物、CO₂量も表示

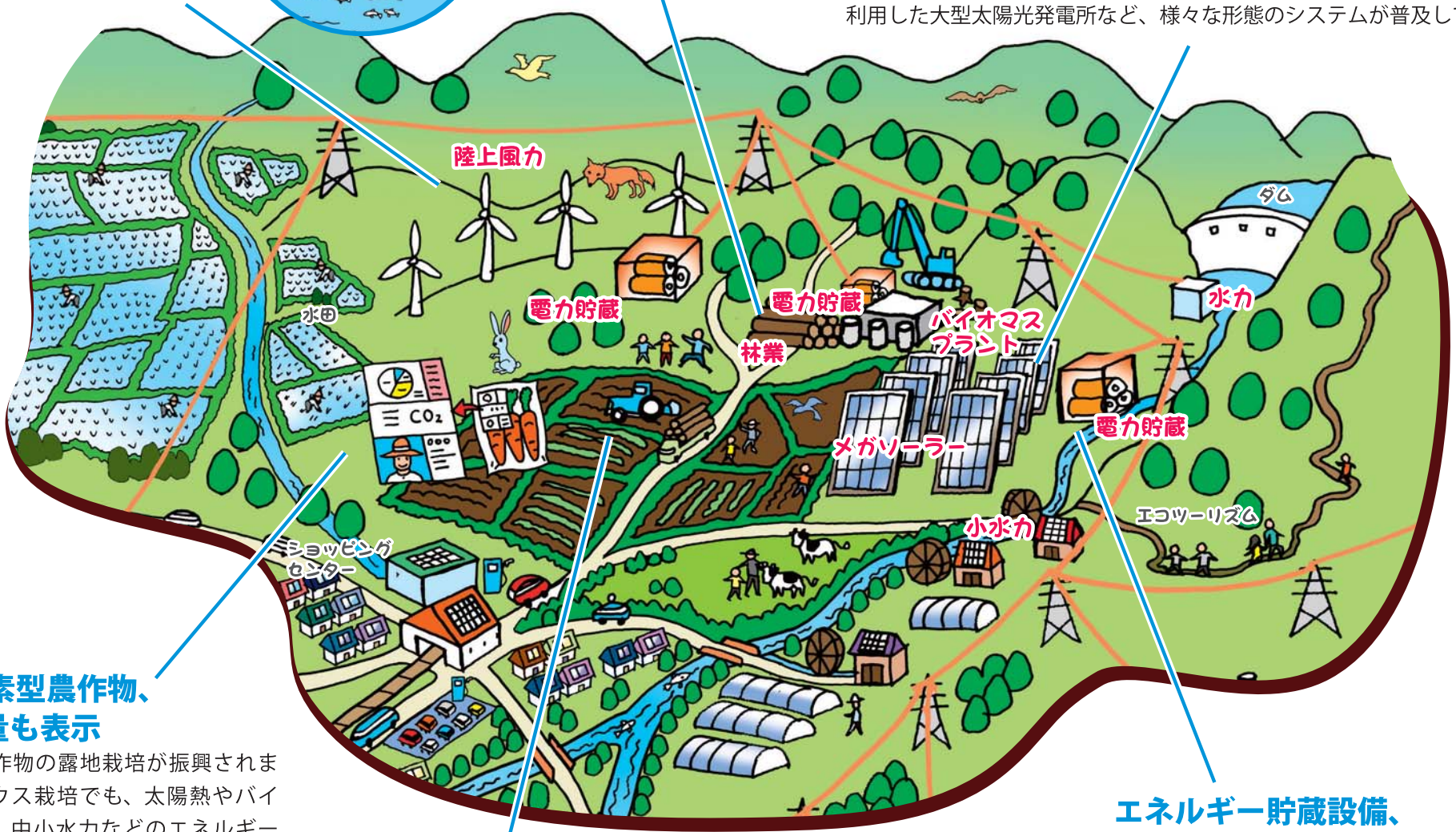
旬の農作物の露地栽培が振興されます。ハウス栽培でも、太陽熱やバイオマス、中小水力などのエネルギーを利用した低炭素型の農作物が作られています。また、出荷する農作物に、栽培方法や健康等に関する情報のほか、エネルギー消費量やCO₂排出量が表示されています。

農業機器の省エネ化、未利用資源も利用

農業機械の燃料として、規格外農作物や農業廃棄物から作られるバイオ燃料が利用されています。また、高効率の農業機器をリースで共同利用するなど、生産過程のエネルギーを削減しています。

エネルギー貯蔵設備、自然エネルギーを無駄にしない

太陽光、風力、バイオマス、中小水力、地熱などを組み合わせて効率的・安定的に利用するために、エネルギー貯蔵設備が併設されています。地域内で、電力の需給が調節されています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% www.team-6.jp